

山の暮らしに触れながら

山里の人・都市の人 お互いさまの関係をつくる

# 「えな山村塾」 参加のお誘い



ほんとうにおいしいものを食べましょう！

野山の恵みに満ちた楽しい山仕事の真髄に触れましょう！

山里の人々と交流しながら、役に立つ意見交換や学び合いをしましょう。

えな山村塾は、岐阜県恵那市の木曾川北（笠周）地域で、森林・農・食を環にして活動し、山の人も町の人もともに豊かな気持ちになり元気づけられることを目指すものです。

山里で生きる技を掘り起こし学びながら、

最終的には地域が生きる活動に結びつけていこうと考えています。

2008年3月まで、山里とかかわる多くの行事を行います。ぜひご参加ください。

## 【えな山村塾行事案内】

### おいしいおにぎりを食べるための営み

かまどで森林と田んぼと食卓がつながります！ 焚き火でご飯を炊きます。お米は地元米。そのための「かまど（くど）」を作ります。石も土も木も資源です。 主催 / 山里文化研究所

- 🔪 たきもの作り（炭焼きと併設） 2008年1月19日
- 🔪 かまど（くど）づくり 3月1・2日 講師：中津川市の方
- 🔪 かまど開き（ごはん炊き） 3月2日
- 🔪 石積み塾（調整中） 傾斜地の農地に欠かせない石積みをつくります。  
おにぎりづくりは4月以降に行う予定。

### 中野方・笠置地区の基本食を学ぶ営み

日本人ならこれが基本！の食べ物を作ります。 主催 / 山里文化研究所

- 🔪 味噌づくり 2月17日 講師：坂折地区の方
- 🔪 こんにゃくづくり 2月3日 講師：栃久保集落の方

## と暮らし取材（聞き書き）

土地のお年寄りに山の食べ物のお話を通した暮らしの話の話を聞き、そのままを文章にまとめます。

小鳥、イノシシ、魚、山菜取りなど、一体何が出てくるか？！

聞き書きの意義と手法を学んでから、山里に出かけ、各自聞き書きをします。主催 / 山里文化研究所

- 📍 聞き書き塾 12月22、23日 講師：澁澤寿一さん（森の聞き書き甲子園企画運営）  
聞き書きに参加する人に研修を行います。  
受講後、作品を提出していただき、聞き書き集にまとめます。

## 森林とかかわり木を生かす営み

- 📍 炭焼き 1月12・13（14予備日）、19・20、27 講師：中野方地区の方
- 📍 「地域材 育てて伐って建てるまで」（仮題）見学ツアー & 公開座談会 1月26日  
講師：安江鍬臣（林業家）、堀尾憲市（建築家）、金子一弘（木材流通業）、大島光利（奥矢作森林塾代表理事）、コーディネーター：原島幹典（森林文化アカデミー教授）  
主催 / NPO法人夕立山森林塾・山里文化研究所

## 参加費

【A】2007年12月～2008年3月までの通し参加会費 大人5千円、中学生以下無料  
一部の参加者限定講座を除き、すべての行事に参加できます。

【B】1日参加 2000円

ただし、A・Bともに材料費、燃料費、宿泊費など実費は別途いただきます。

## 応募のしかた

【記載事項】住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、連絡先電話（できるだけ携帯）、  
メールアドレス（ある人のみ）、応募動機

【方法】電子メール、ファクス、ハガキ。

【締め切り】各行事の3日前。ただし先着順で定員になり次第募集終了。

## 申し込み先・お問い合わせ先

山里文化研究所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林 1522-125 メゾンオザワ 102  
Tel・Fax (0573) 68-6016 携帯 090-7615-6396（午前11時～午後9時）  
Eメール：yamazatobunka@feel.ocn.ne.jp

## 活動場所

岐阜県恵那市 坂折棚田、中野方町、笠置町など。

岐阜県恵那市は名古屋からJR中央線でわずか1時間ですが、山と川と棚田の美しい山里風景が見られます。特に坂折棚田（日本の棚田百選）や笠置地区の棚田の石積みは見事です。

えな山村塾は、山里文化研究所がNPO法人夕立山森林塾・恵那市（林業振興課・農業振興課）・坂折棚田保存会との連携のもとに活動するものです。

林野庁補助事業「平成19年度山村塾事業」の助成を受けています。

【注】日程・内容ともに変更する場合があります。行事が上記より減る場合があります。最新情報は、以下のホームページに掲載しています。

えな山村塾ホームページ <http://www.ena-sansonjuku.net/>